定期交換部品キット タイプ 85 交換手順書

RICOH

定期交換部品キットはプリンターをよりよい状態でご使用いただくための交換部品です。ディスプレイに「テイキメンテナンスジキ」のメッセージが表示されたら交換してください。

1 定期交換部品キット交換前の準備

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

ご使用後の部品は、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

1 プリンター本体の電源を切ります。

重要

❒ 定期交換部品キットの交換は、プリンター本体の電源を切ってから約1時間経過して機械内部の高温部が常温になるのを待って開始してください。

2 同梱品を確認します。

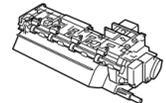
定期交換部品キットは以下の部品で構成されています。

すべての部品がそろっていることを確認してください。

① フリクションパッド（3個）
（本体および増設トレイユニット共通）

② 給紙コロ（3個）
（本体および増設トレイユニット共通）

③ 転写ローラー（1個）

④ 定着ユニット（1個）

⑤ 手袋（1個）

2 フリクションパッドを交換する

給紙トレイのフリクションパッドをすべて交換します。ここでは本体トレイを例に説明します。

1 電源プラグをコンセントから抜き、インターフェースケーブルを取り外します。

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

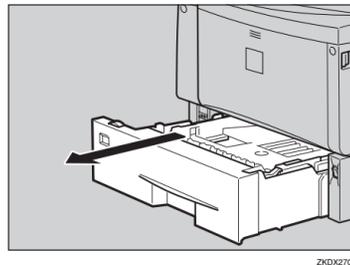
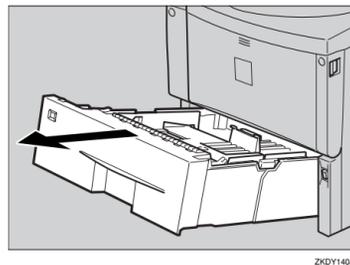
⚠注意

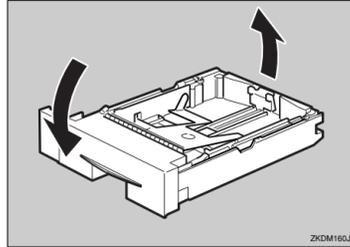
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

2 給紙トレイを止まる位置まで引き出します。

ZKDX270J

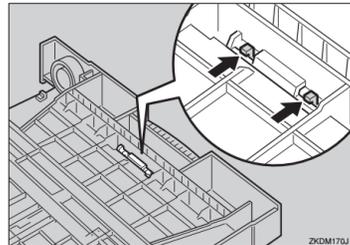
3 前面を持ち上げて引き抜きます。

ZKDY140J

4 セットされている用紙を取り出し、給紙トレイを裏返しにします。

ZKDM160J

5 フリクションパッドを固定している2カ所のつめをボールペンの先などで外します。

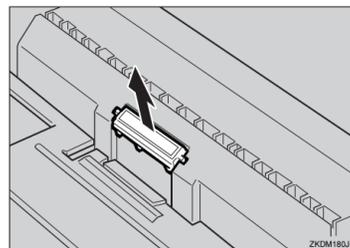
補足

- つめを外したとき、フリクションパッドが落下することがあります。フリクションパッドを手で押さえながら作業をしてください。
- フリクションパッドのスプリングが外れることがあります。スプリングを落としてなくさないよう、注意してください。

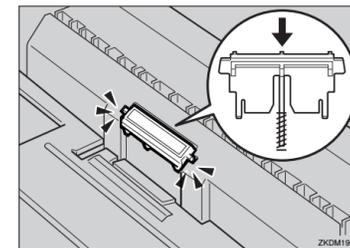
ZKDM170J

6 給紙トレイを表面にして、フリクションパッドを引き抜きます。

補足

- フリクションパッドのスプリングが外れることがあります。スプリングを落としてなくさないよう、注意してください。

ZKDM180J

7 引き抜いた場所に新しいフリクションパッドをセットします。

フリクションパッド中央の突起を給紙トレイ側のスプリングに合わせ、両端が溝に合うように差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

ZKDM190J

押し込んだら、確認のためにフリクションパッドを上から数回押してみてください。スプリングの力で戻ってくれば正しくセットされています。

8 500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイユニットを取り付けているときは、手順2～7と同様の操作で増設トレイのフリクションパッドを交換します。

これでフリクションパッドの交換は終了です。

3 給紙コロを交換する

プリンター本体と増設トレイユニットの給紙コロをすべて交換します。

1 オプションの両面印刷ユニットを取り付けているときは、プリンター本体から取り外します。

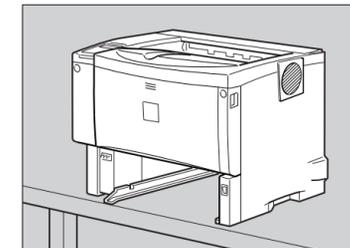
詳しくは <取り扱い編>「9.付録」『移動』を参照してください。

⚠注意

- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

2 プリンター本体を机の端に移動します。

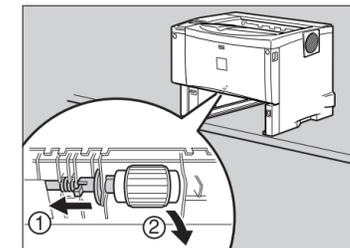
500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイユニットを取り付けているときは、プリンター本体だけを持ち上げ、500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイユニットから確実に離れたことを確認してから移動させてください。

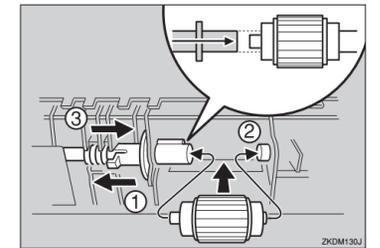
ZKDM110J

重要

❒ 移動の際は、トナーがこぼれないように、できるだけ水平を保ってください。
❒ 移動後は、ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。

3 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせて（①）、給紙コロを取り外します（②）。

イラストは本体の給紙コロの例です。

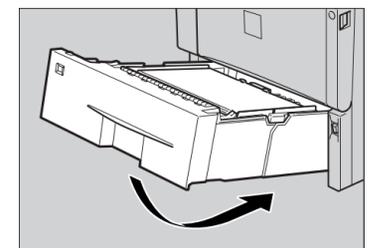
ZKDM120J

4 新しい給紙コロをセットします。給紙コロ固定レバーを左側にスライドさせた状態で（①）、給紙コロをくぼみに入れ（②）、レバーを戻します（③）。

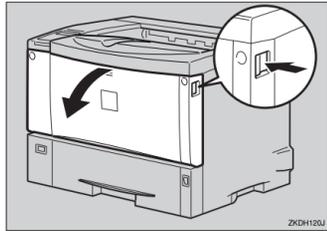
ZKDM130J

給紙コロ固定レバーを給紙コロの軸の根元まで確実に戻し、給紙コロがスムーズに回転することを確認してください。

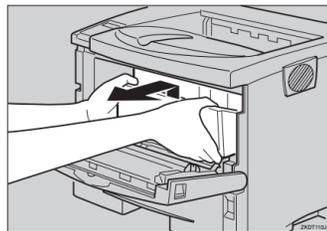
5 500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイユニットを取り付けているときは、増設トレイユニットの給紙トレイを引き抜き、プリンター本体と同じ操作で給紙コロを交換します。

2段増設しているときは両方とも交換します。

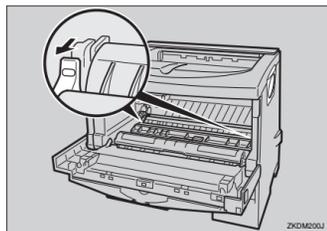
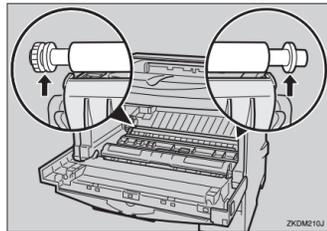
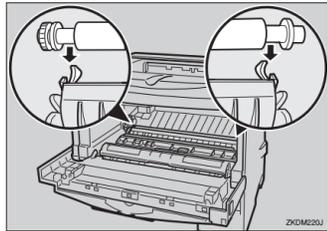
6 引き抜いていた給紙トレイと増設給紙トレイに用紙を入れ、前面を持ち上げるようにして奥まで押し込みます。

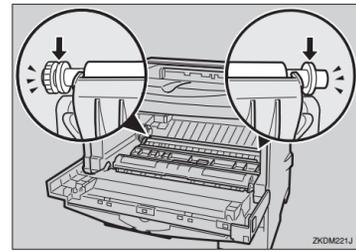
ZKDY150J

4 転写ローラーを交換する

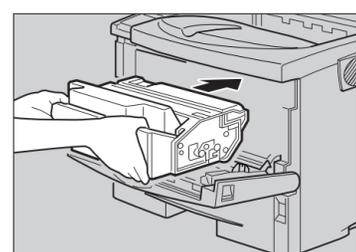
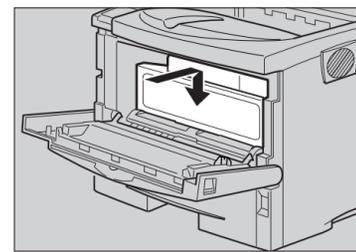
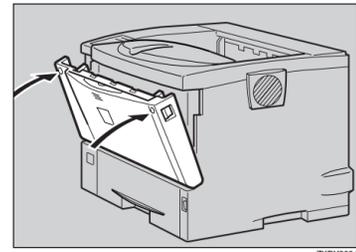
1 前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開けます。

2 トナーカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

補足
- トナーカートリッジを置くときは、机などの平らで突起物のない場所を選んでください。
- トナーカートリッジを斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

3 同梱品の手袋をはめます。

補足
- 手袋をはめないとプリンター内部のトナーで手がよごれることがあります。

4 転写ローラーカバーを、左右の緑色の印のついたつまみを持って、手前に起こします。

5 転写ローラーを、左右の緑色の部分を持って取り外します。

6 ギアの部分を左側にして、新しい転写ローラーを軸受けにのせます。

重要
- ❒ 新しい転写ローラーを、軸受け奥の溝にセットしないでください。軸受け以外の場所に転写ローラーをセットすると機械が破損する原因になります。
- ❒ 転写ローラーの金属部分を軸受けにのせてください。スポンジ部分をのせると転写ローラーが破損する原因になります。

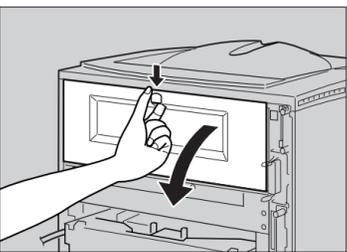
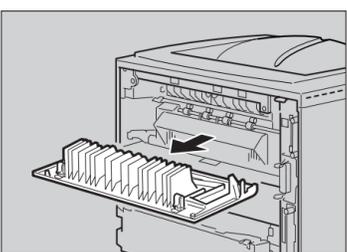
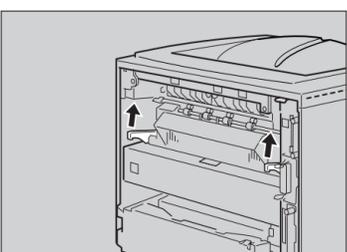
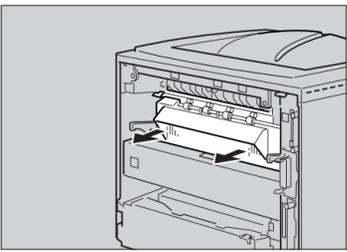
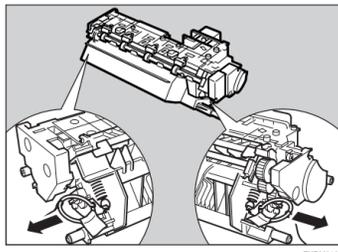
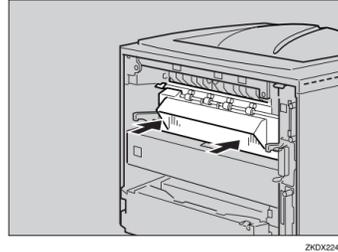
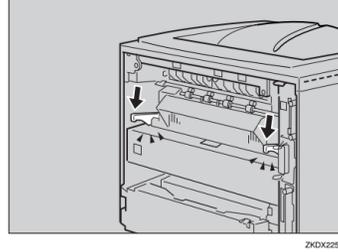
7 左右の緑色の部分をカチッと音がするまで下に押し込みます。

転写ローラーがセットされると同時に、転写ローラーカバーも元の位置に戻ります。

8 トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンター内部に押し込みます。

9 奥に突き当たったところで、トナーカートリッジを降ろします。

10 前カバーを閉めます。

これで転写ローラーの交換は終了です。手袋を外して、次の定着ユニットの交換に進みます。

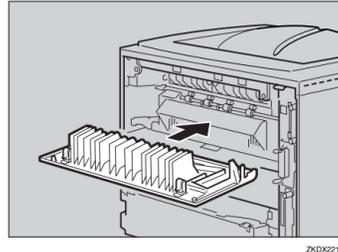
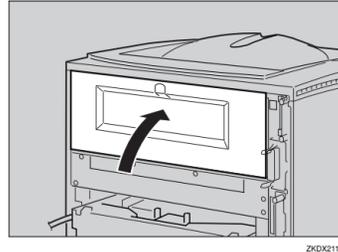
5 定着ユニットを交換する

注意
- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換は、プリンター本体の電源を切ってから約1時間待ち定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

1 後ろカバーが付いている場合は取り外します。

❶プリンター本体の後ろカバー中央のくぼみに指を入れ、引いて開けます。

❷後ろカバーを水平方向に取り外します。

2 左右の定着ユニット固定レバーを上げます。

3 定着ユニットを手前に引き出します。

4 新しい定着ユニットの左右両側にあるピンを引き抜きます。

5 新しい定着ユニットを内部にスライドさせてセットします。

6 左右の定着ユニット固定レバーを、カチッと音がするまで押し下げます。

7 手順 1 で取り外した後ろカバーを取り付けます。

「3 給紙コロを交換する」の手順 1 でオプションの両面印刷ユニットを取り外した場合は、手順に 7 進んでください。

❶後ろカバーを左右の軸受けに合わせて水平に差します。

❷後ろカバーを閉めます。

8 オプションの両面印刷ユニットを取り付けていた場合は、両面印刷ユニットを取り付けます。

取り付け方は、<取り扱い編>「2.オプションを取り付ける」「両面印刷ユニットを取り付ける」を参照してください。

これですべての部品の交換が終了しました。テスト印刷をして動作を確認します。

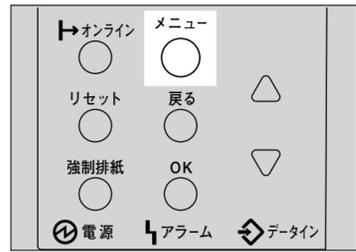
6 テスト印刷をする

プリンターを元の位置に戻したあと、システム設定リストを印刷してプリンターの動作を確認します。

1 プリンター本体を元の位置に戻します。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

3 以下の順に操作してシステム設定リストを印刷します。

❶【メニュー】キーを押します。

以下のメニューが表示されます。

<メニュー>
ヨウシセッテイ

❷【▲】【▼】キーを押して、「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
テストインサツ

テスト印刷の選択画面が表示されます。

<テストインサツ>
1. システムセッテイリスト

❸【OK】キーを押します。

システム設定リストが印刷されます。

補足
- 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、<取り扱い編>「メッセージが表示されたとき」を参照して、エラーの対処をしてください。
- 用紙が送られないなど正しく印刷できないときは、交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。

4 システム設定リストが正しく印刷されたらインターフェースケーブルを取り付けます。

これで定期交換部品キットの交換作業は終了です。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター IPSiOダイヤル」にご連絡ください。
FreeDial 0120-56-1240
●受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル〒107-8544
Tel:(03)3479-3111（代表）

2003年3月 G830-8500